

平成29年10月入学岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【特別入試】

講 座	言語情報論
専門科目 1	言語学

【解答はすべて解答用紙に記入すること】

- I) 日本語のタ行の子音は、どのような音声として実現されるか、IPA 表記で書きなさい。また、それらは一つの音素であるとする考え方と、二つの音素からなるとする考え方があるが、それらは具体的にどのような考え方か。それぞれの考え方の根拠や問題点とともに述べなさい。
- II) 次の語形変化を分析して1) と2) について答えなさい。  
 1) 動詞の複数形はいかにして派生されるか述べなさい。  
 2) このような形態法を何と言うか述べなさい。

Singular

1. fieok "speaks", 2. him "walks", 3. dagkon "wipes", 4. helwuin "is sliding",  
 5. 'ul "sticks out"

Plural

1. fiefieok "we/you/they speak", 2. hihim "we/you/they walk", 3. dadagkon  
 "we/you/they wipe", 4. hehelwuin "we/you/ they are sliding", 5. 'u'ul "we/you/they  
 stick out"

- III) 言語の曖昧性(ambiguity)について、例を挙げながら論じなさい。

- IV) 次の用語の中から4つを選び、具体例を挙げながら説明しなさい。

規範文法 (prescriptive/normative grammar), 一方向性仮説 (unidirectionality hypothesis), 連母音 (hiatus), 非人称受身 (impersonal passive), 硬口蓋化 (palatalization), 語彙アスペクト (lexical aspect), 結果構文 (resultative construction), 高コンテクスト文化/低コンテクスト文化 (high-context culture/low-context culture)

以上